

## 2018年度(平成30年度)保護者会アンケート結果概況

IR室より

このアンケートは、2018年(平成30年)10月に実施した保護者懇談会アンケート結果から、本学の教育内容に関する3項目を抜粋したものです。

懇談会に出席された保護者のおよそ95%の皆様方には、本学(大学、短期大学部)の教育活動にご満足(“満足”と“やや満足”の合計)をいただいている結果となりました。

学生に身に付けさせたい能力については、「専門性」が一番高く、次に「自己判断能力」、「コミュニケーション能力」の順でご回答をいただきました。この設問で、前年度は「専門性」、「コミュニケーション能力」、「教養」の順にご回答いただいておりますが、大学入試改革が進められる中で学力の3要素を求められる時代背景もあり、「自己判断能力」を挙げる保護者が増えてきていることが窺えます。

本学が今後さらに充実すべきことについては、ここでも「専門性」が一番高く、次に「就職支援」、「教養」、「語学力」の順にご回答をいただいております。

これらの結果から、保護者の皆様には、本学の教育について就職(出口)を意識した専門的職能教育と、社会人として必要な「自己判断能力」の養成が求められていることがわかりました。

本アンケートで得られました貴重なデータは、本学の教育内容の充実のための貴重な資料とさせていただきます。

ご協力いただきました保護者の皆様方に厚くお礼申し上げます。